

# 地域と連携した「かわまちづくり」

公益財団法人リバーフロント研究所  
水循環・まちづくりグループ 研究員  
阿部 充

1

Japan RiverFront research Center

## リバーフロント研究所の概要

行政サイドの発想ではなく地域や民間の構想を活かしつつ、水辺空間に関する調査・研究を総合的に行い、その成果を社会に幅広く効率的に活用するため

- 1987年9月1日  
「財団法人リバーフロント整備センター」として発足
- 2012年4月1日  
「公益財団法人リバーフロント研究所」に名称変更  
→「公益法人制度改革」

2

## 調査研究、技術開発

### 環境・生態系の基本的課題

- ・環境・生物多様性目標、インパクトレスポンス、環境の経済面からの評価
- ・気候変動の影響、生物調査手法、効率的・効果的生物・生息環境調査技術 など

### 低炭素社会形成に資する流域水循環管理

- ・表流水・地下水一体の水循環系
- ・既存施設の効果的活用
- ・水循環系と生態系の応答
- ・取排水システム、地下水涵養
- ・土砂動態と生態系の応答
- ・山・川・海を繋ぐ栄養塩類の動態

など

### しなやかで強靱な流域形成

- ・耐水都市・流域構造構築
- ・土地利用・施設整備一体の流域形成
- ・まちづくりと一体となった対越水型堤防整備手法
- ・かわまちづくり
- ・景観形成
- ・漂着及び不法投棄ゴミ対策
- ・舟運

など

### 生態系サービスを楽しむ流域社会構築

- ・生態系サービス機能の把握・評価
- ・生態系サービス機能増進手法
- ・土砂動態を考慮した整備・管理
- ・縦断的横断的連続性確保
- ・樹木・植生管理
- ・自然再生
- ・多自然川づくり
- ・外来種対策

など

### 意識共有、合意形成の円滑化

- ・ビジュアルでわかり易い「見える化」技術、データベース など

## 研究成果等による社会貢献

### 研究成果、技術の普及

- ・情報提供、シンポジウム等、出版 など

### 国際展開

- ・研究成果を活用した活動、ARRN、技術交流、 など



### NEWS

- 12.8.16 【行事】 第30回リバーフロント研究所研究発表会  
開催日：平成24年9月14日(金) 開催場所：月島社会教育会館(東京都)  
プログラム、参加申し込みはこちらから
- 12.5.30 平成23年度事業報告、平成24年度事業計画を公開しました。(研究例について > 掲載済)
- 12.6.22 機関誌「REVER FRONT」74号を発刊しました。(活動成果 > 刊行物)
- 12.4.1 「財団法人 リバーフロント整備センター」は、「公益財団法人リバーフロント研究所」に名称を変更しました。



## 台湾との交流

- ・2001年：台湾（財）七星農田水利研究発展基金会と河川水辺環境の技術協力の覚書を取り交わす。
- ・それ以降、毎年、現地視察や講習会等の技術交流を図っている。



現地視察（日本）



技術交流講習会（台湾）

## 本日の話

1. 日本橋（川）について
2. かわまちづくりの背景
3. 地域と連携した川づくりの取組
4. かわまちづくり支援制度の創設
5. 調査研究内容の紹介



## 日本橋とは

- 1603年 架橋 → 日本の道路網(五街道)の起点。
- 交通の要として非常に栄えた



江戸時代(1603~1868)に整備された五街道

## 1830年代の日本橋



葛飾北斎「富嶽三十六景」1831年~1833年頃<sup>10</sup>

## 2012年(180年後)の日本橋



11

## 日本橋(外観)



東京オリンピック開催(1969年)に向け都心混雑防止のため高速道路を建設<sup>12</sup>

## 本日の話

1. 日本橋(川)について
2. **かわまちづくりの背景**
3. 地域と連携した川づくりの取組
4. かわまちづくり支援制度の創設
5. 調査研究内容の紹介

13

## 2. かわまちづくりの背景

- ・陸上交通の発達(1872年 新橋～横浜間鉄道開業)
- ・頻発する風水害(1950年代前後)
- ・急激な都市化と河川の変貌(1960年代)

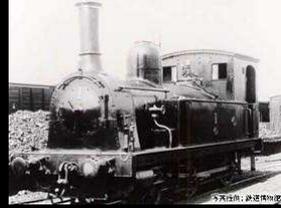
舟運の衰退、効率的な治水対策、河川環境の悪化

- ・川と人、まちとの関わり ×
- ・川の多様な機能 ×

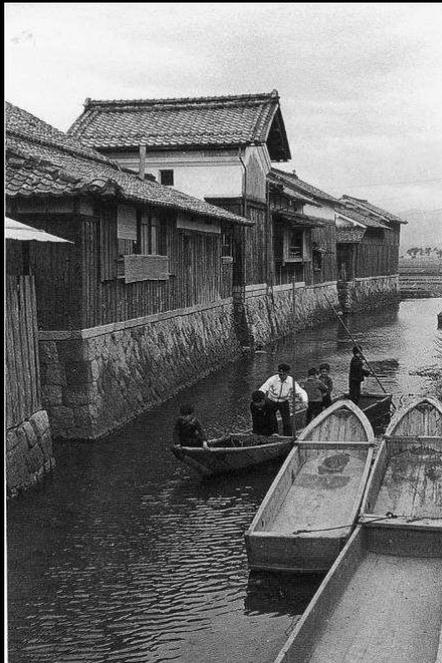
14

# 陸上交通の発達

・1872年 新橋～横浜間 開業

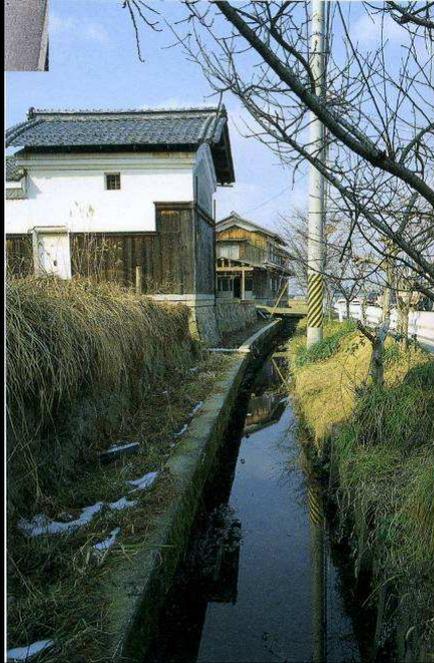


多摩川橋梁 六郷蒸気車往返之全図 三代広重 1871年(出典:恵の本音)



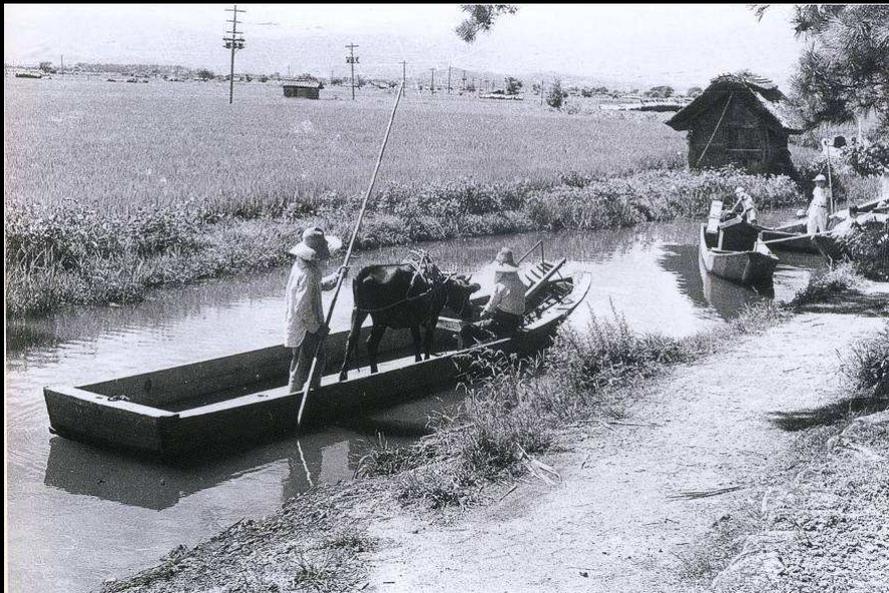
水路は溝になった  
中主町吉川 1967年3月28日

私とあなたの琵琶湖アルバム  
滋賀県立琵琶湖博物館



水路は溝になった  
中主町吉川 1997年1月28日

私とあなたの琵琶湖アルバム  
滋賀県立琵琶湖博物館



水路はどこへ  
守山市幸津川 1954年

私とあなたの琵琶湖アルバム  
滋賀県立琵琶湖博物館



## 効率性を優先した整備（直線化、三面張り）



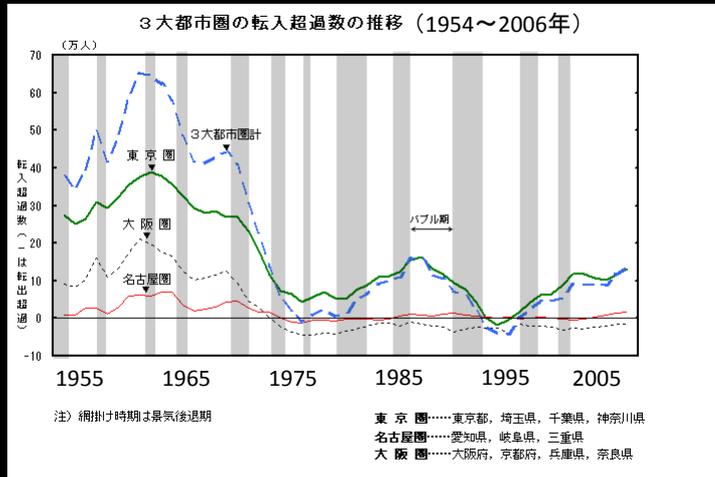
21

## 効率性を優先した整備（直線化、三面張り）



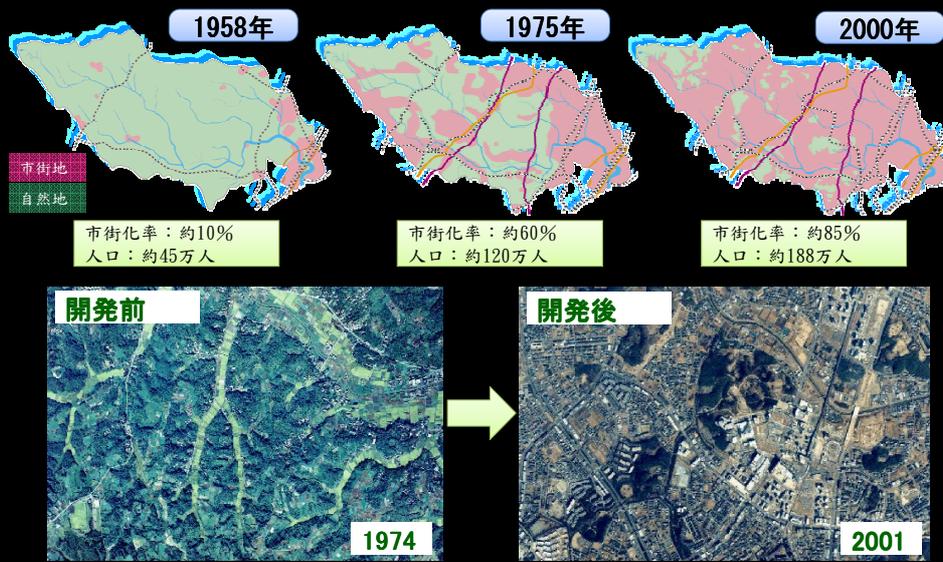
22

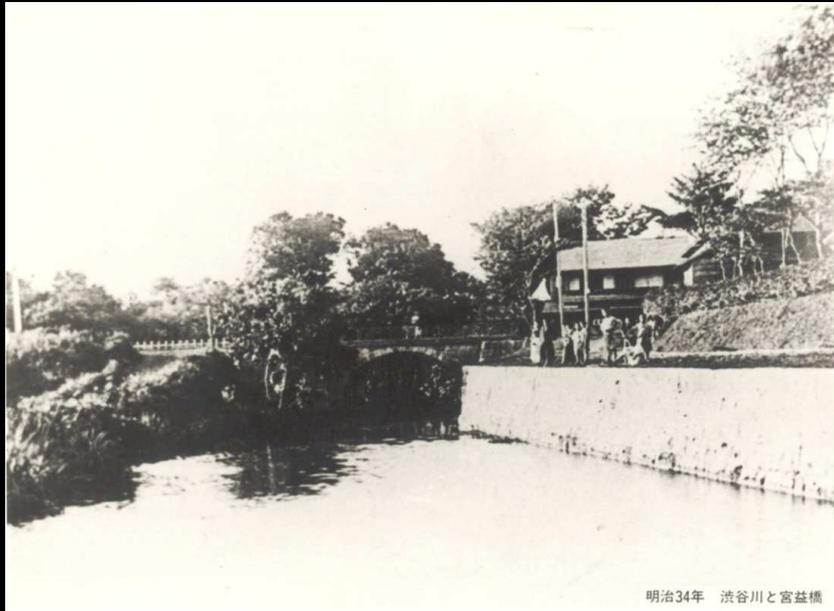
## 高度経済成長期における都市への人口集中、 宅地需要の増大



出展: 総務省統計局統計センター住民基本台帳人口移動報告

## 急激な都市化(鶴見川流域の土地利用の変遷)





明治34年 渋谷川と宮益橋

渋谷川と宮益橋(1901年) 東京都HP <sup>25</sup>



渋谷川(稲荷橋から上流(渋谷宮益橋)方面) 東京都HP <sup>26</sup>



渋谷川(稲荷橋から下流方面) 東京都HP <sup>27</sup>

## 水辺空間の人工化(グラウンド、公園利用)



## 河川環境の悪化(公害、ゴミ)



隅田川1967年 目で見る環境白書(1982)

29



古川河口付近のゴミ(1970) 東京都HP

30



多摩川の泡

1970年 東京都環境局提供

31



ここで泳ぐべからず  
近江八幡市多賀町 1956年頃

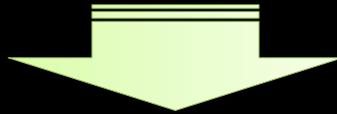
私とあなたの琵琶湖アルバム  
32  
滋賀県立琵琶湖博物館

日本の近代化～高度経済成長

生活の豊かさ、治水安全度の向上・・・



人と川とが疎遠に・・・



河川環境や河川景観への関心の高まり

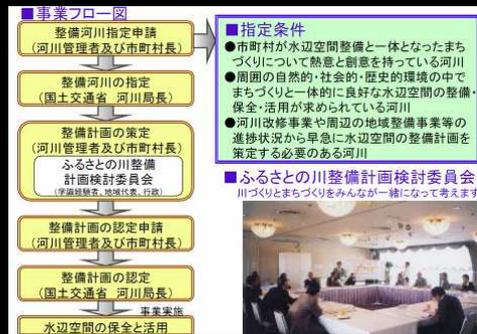
- まちづくりと一体となった河川整備への取組
- 生物の生育生息空間の保全再生への取組
- 環境教育の取組

## 本日の話

1. 日本橋(川)について
2. かわまちづくりの背景
3. 地域と連携した川づくりの取組
4. かわまちづくり支援制度の創設
5. 調査研究内容の紹介

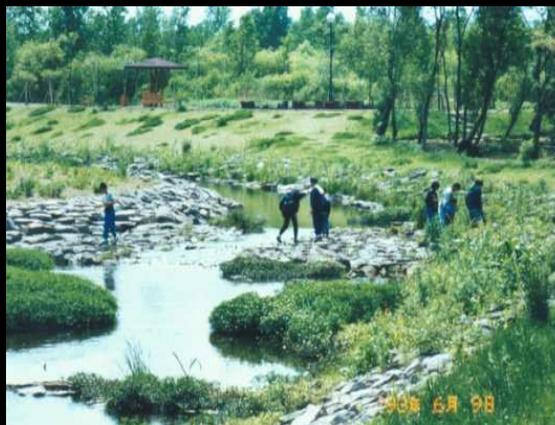
## ふるさとの川整備事業

- ・目的: 河川本来の自然環境の保全・創出や周辺環境との調和を図りつつ、地域整備と一体となった河川改修を行い、良好な水辺空間を形成を図る。
- ・特徴: 「市町村や地域住民の川づくりへの参加」、「まちづくりと一体となった川づくり」
- ・1987年モデル事業としてスタート。1996年から一般化。
- ・全国186河川(2006年まで)



35

## 茂漁川(北海道恵庭市:1990年認定)



周辺公園と一体化し自然を演出した水辺空間

36



## その他の水辺を活かしたまちづくりの取り組み

「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る河川敷地占用許可準則の特例措置について(2004年事務次官通達)」

### ■京橋川(広島市)の社会実験

- ・2004年:隣接した民間事業者による民有地と地先河岸緑地とが一体となったオープンカフェ実施
- ・2005年:出店者を公募・選定し、常設型店舗のオープンカフェ実施



整備前



整備後



## 本日の話

1. 日本橋(川)について
2. かわまちづくりの背景
3. 地域と連携した川づくりの取組
4. **かわまちづくり支援制度の創設**
5. 調査研究内容の紹介

- ・従来の事業の制度化から一定期間経過
- ・制度を点検し新たにソフト施策の組み合わせを行い発展的に統合



### 2009年「かわまちづくり」支援制度の創設

目的：観光などの活性化につながる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の「資源」や地域の「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携のもとで立案された、河川や水辺の整備・利活用計画により、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図る。

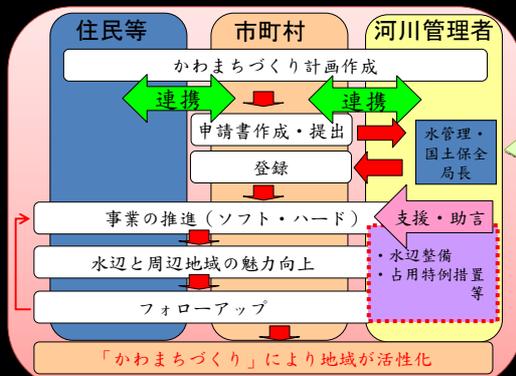
- ・全国107件(2012年8月)

# 「かわまちづくり」支援制度のイメージ



# 「かわまちづくり」のスキーム

- ①計画の作成: まちづくりの主体である市町村が中心となり、地域住民や河川管理者と連携して、水辺とまちづくりに関する基本方針や施策をまとめた「かわまちづくり計画」を作成
- ②計画の申請、登録
- ③事業の推進

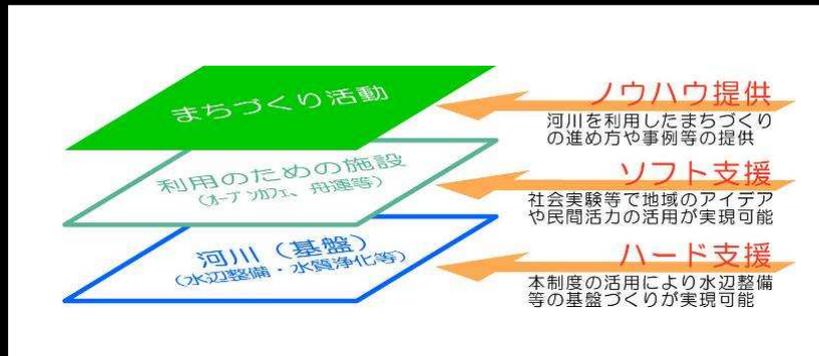


**【登録の条件】**

- ・地域の創意としての「知恵」を活かした計画となっているもの。
- ・水辺の活用方策が地域において明確となっているもの。
- ・水辺施設の維持管理に地域の協力が得られるもの

※「かわまちづくり」支援制度概要図(国土交通省資料より)

## 河川管理者による支援内容



### 【河川管理者による支援】

- ・ソフト支援(河川に係る規制等の緩和、事業推進への助言)
- ・ハード支援(安全・安心に係る水辺整備のまちづくりに合わせた整備)

45

## 事例紹介(道頓堀川:大阪市)

【整備期間】 2005～2009年度

【目的】 「沿川市街地活性化」「都市活力の向上」

### 【ソフト施策】

- ・河川敷占用許可準則の特例措置を活用した河川空間利用促進(オープンカフェ、各種イベント開催)
- ・防災施設を利用したセミナー等の開催
- ・環境学習等

### 【ハード施策】

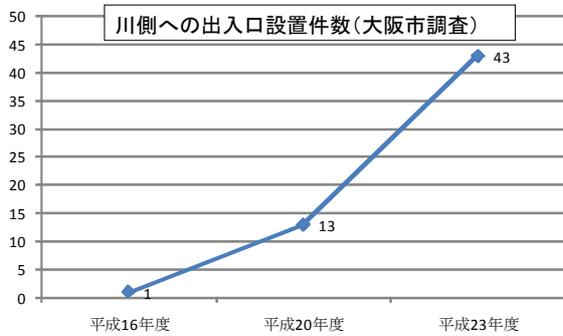
- ・水辺遊歩道整備、オープンスペース整備
- ・防災船着場等、水陸交通ターミナルのための河川環境整備





## 事業の効果

- ・イベント実施回数の増加やそれに伴う来場者数の増加、船着き場の利用回数が上昇し、地域の活性化に寄与
- ・店舗の川側への出入口設置件数も増加



## 本日の話

1. 日本橋(川)について
2. かわまちづくりの背景
3. 地域と連携した川づくりの取組
4. かわまちづくり支援制度の創設
5. 調査研究内容の紹介

## 調査研究内容の紹介

### 「評価の違いは、何が要因か？」

#### ①事例調査

成功した事例を中心に反省の残る事例も含め、河川を活かしたまちづくりの進め方の特徴を詳細に分析

#### ②実態調査

現在実施されている事業を進めたプロセスの中で、どの部分の違いが整備された空間の評価に影響を及ぼしているのか分析

## 先進事例の進め方の特徴(寝屋川)

1級河川／大阪府寝屋川市



整備前の状況

### 仕組み

市制50周年記念事業

寝屋川再生プランワークショップ

ねや川水辺クラブ

ワークショップ参加住民

### ポイント

- ◇ 多くの市民を巻き込み多彩な内容でワークショップを展開
- ◇ 事業中も住民からの意見を取り入れ、関係機関と地域住民が積極的に連携
- ◇ 積極的に情報提供を行い、行政と地域が協働で川づくりを実施

## 寝屋川における整備概要



川の利用状況

出典:大阪府河川室



住民による公園整備

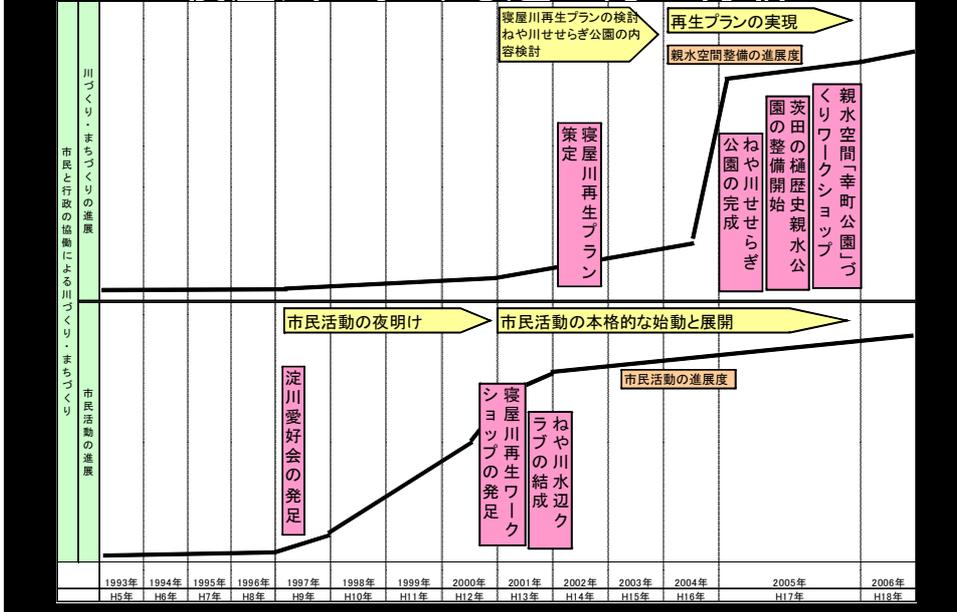


舟下り

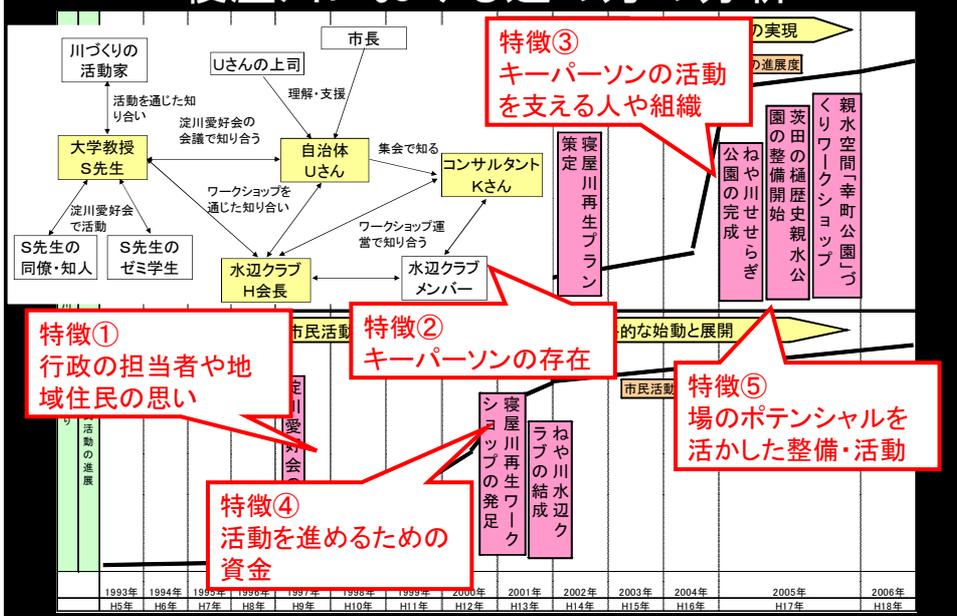
出典:ねや川水辺クラブHP

- 【河川管理者】 親水護岸、遊歩道等を整備
- 【寝屋川市】 隣接する公園や駅前を整備
- 【地域住民】 イベントの開催や維持管理、公園等の整備を実施

# 寝屋川における進め方の分析



# 寝屋川における進め方の分析

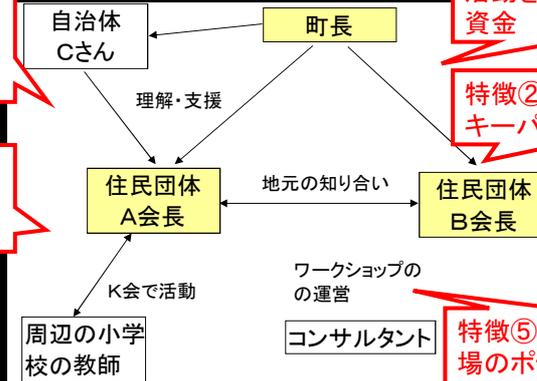


## 反省の残る事例の特徴

防災ステーションの整備をきっかけにして、周辺地域も併せた水辺空間の整備を計画  
→地域交流拠点「水辺プラザ」の整備

特徴①  
行政の担当者や地域住民の思い

特徴③  
キーパーソン  
の活動を支える人や組織



特徴④  
活動を進めるための資金

特徴②  
キーパーソン  
の存在

特徴⑤  
場のポテンシャルを活かした整備・活動

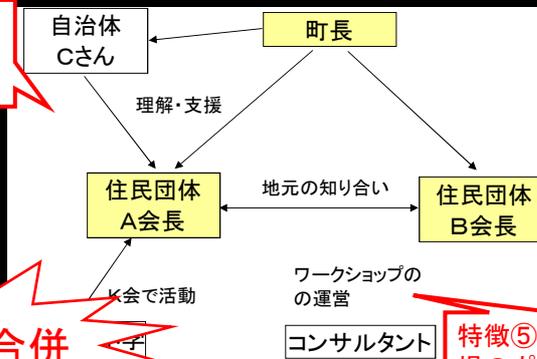
## 反省の残る事例の特徴

防災ステーションの整備をきっかけにして、周辺地域も併せた水辺空間の整備を計画  
→地域交流拠点「水辺プラザ」の整備

特徴①  
行政の担当者や地域住民の思い

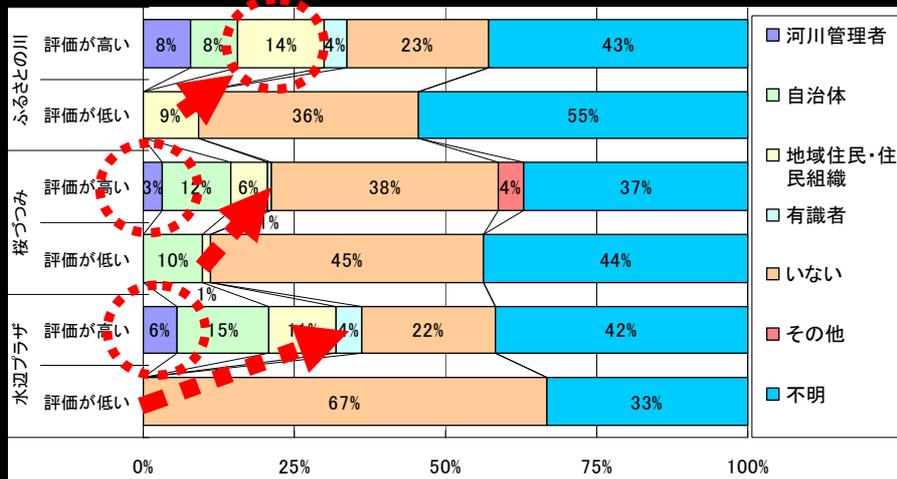
市町村合併

→活発だった河川空間の利活用が停滞

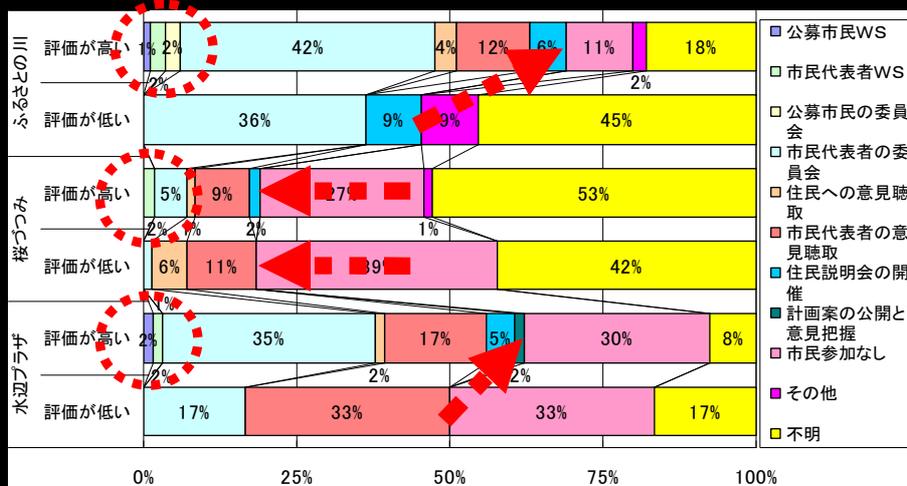


特徴⑤  
場のポテンシャルを活かした整備・活動

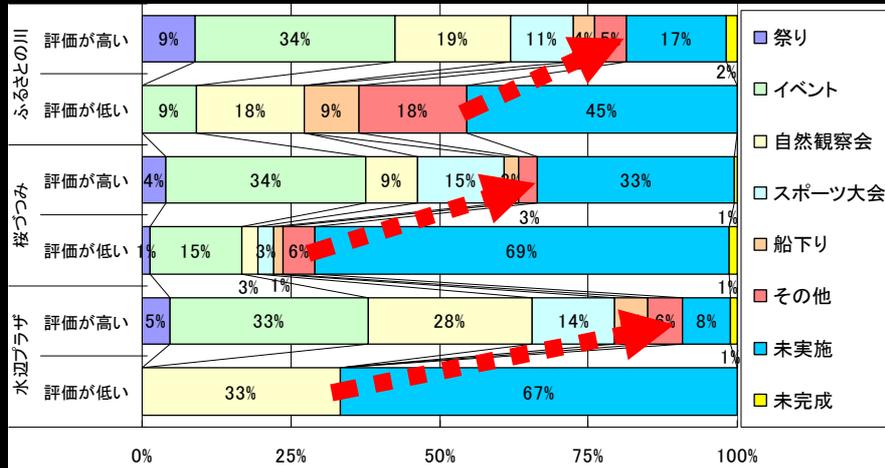
## 事業前のキーパーソン(実態調査)



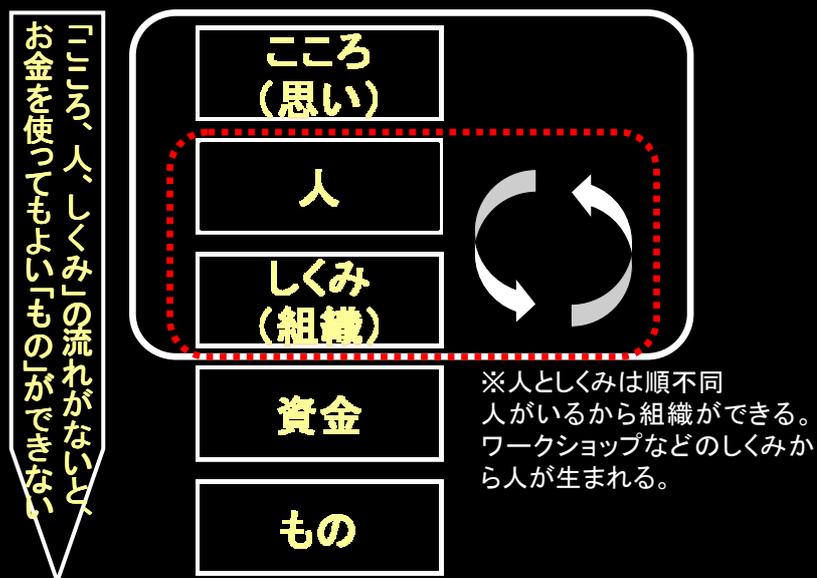
## 計画策定時の住民参加(実態調査)



## 行事などの開催内容(実態調査)



## 成功要因の構造



ご静聴ありがとうございました。



隅田川18月

## その他の先進事例(最上川の例)

1級河川 / 山形県長井市



長井市内に残る古くからの街並み



最上川堤防千本桜

### 仕組み

最上川上流フットパス検討会  
河川管理者、山形県、長井市、新聞社



### ながいフットパス施策推進WG

河川管理者、長井市、商工会議所、  
観光協会、青年会議所、NPO等

### ポイント

- ◇検討会の下部組織で民間メンバーが加わりワーキングを20回も開催
- ◇ワーキングで「歩かせるルート」から「自分たちが歩きたいルート」に発展
- ◇今まで気がつかなかった小さな地域資源の掘り起こしに成功

# 最上川の整備概要



まちの中のフットパス



- 【河川管理者】 河川区域内のフットパスを整備
- 【長井市】 フットパスに隣接して案内看板や駐車場を整備
- 【地域住民】 散策路のための用地を無償で提供
- 【民間企業】 民間施設が来訪者にトイレを開放



まちに点在する観光資源  
【醤油屋の入り水】



川の中のフットパス



あやめ公園